

ふれあい

高知高須病院 院内誌

2020
vol.96



開院45周年
新体制発足
記念特集
(P2~P7)



KAIZEN発表大会 (P8~P9)



糖尿病料理教室 (P6)

- 理事長就任のご挨拶
- 理事長退任、会長就任のご挨拶
- 池辺新理事長インタビュー
- 会長・理事長東部訪問
- 座談会 職員の思い出
- 糖尿病料理教室
- ひまわり通信
- KAIZEN発表大会
- 「はるか」だより
- ニューフェイス紹介
- 学会・研究会発表実績
- 慰霊祭
- ご結婚・ご出産おめでとう

当院では毎年お亡くなりになられた患者さんの慰霊祭を行っています。今年も2月29日(土)に心月記にて、要法寺ご住職のもと慰霊祭を執り行いました。

参加者は16家族19名のご遺族と、寺尾理事長、大田院長を始め職員28名が参列し、故人のご冥福をお祈りさせていただきました。

例年であれば、法要後に、患者さんと生前、関わりがあった職員とご遺族による茶話会が開かれるのですが、今年は新型コロナウイルスの影響で中止となりました。ご家族と患者さんのお話ができなかったことが心残りでしたが、存じ上げることが家族も来られて



おり、患者さんのお顔を思い出しながら、懐かしい時間を過ごす貴重な時となりました。

最後に、お亡くなりになられた患者さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

ご冥福をお祈りいたします。

・肅々と
執り行われました・

病棟部長 筒井夏子

ホームページをリニューアルしました!!

2020年4月1日、高知高須病院ホームページを全面的にリニューアルしました。今回のリニューアルでは、患者さんや医療情報を必要としている方にとって、「使いやすい」、「必要

としている情報を知ることができる」ホームページを目指して、デザインを一新しております。
[ホームページ <http://www.takasuhp.or.jp/>]



小島 知世(本院透析室)
2019年7月9日生まれ
ちなつちゃん



中澤 貴広(臨床工学部)
中澤 晃子(本院透析室)
2019年11月26日生まれ
佑心(ゆうしん)くん



小松 和希(安芸SW)
2020年2月10日生まれ
眞士(まなと)くん



小野 悠加(本院透析室)
2020年3月4日生まれ
龍正(りゅうせい)くん



大原 寿子(本院透析室)
2020年3月10日生まれ
明仁(あきと)くん



調理師
高橋 咲子さん(旧姓:近森)
2019年10月7日入籍

臨床工学技士
森里 咲貴さん(旧姓:田村)
2020年2月27日入籍

[尚腎会 2020年3月の診療実績]

●外来患者数/3,440人 ●紹介患者率/25.89% ●新入院患者数/104人 ●退院患者数/99人 ●平均在院日数/17.0日 ●病床利用率/81.6%



開院45周年 新体制発足 記念特集

寺尾理事長から池辺新理事長へ 高知高須病院の新時代幕開け

「よき組織風土」の継続とさらなる「進化」

この度、寺尾尚民前理事長の後任として令和2年4月1日をもちまして理事長に就任致しました。

開院45周年を迎えた節目での就任に、改めて責務の重さを感じるとともにこれまで長きにわたり皆様に温かいご協力とご支援を頂いたことに心より感謝申し上げます。

当院は1974年に「高須クリニック」として透析医療や泌尿器疾患の診療所からスタートし、1987年には「高知高須病院」へ名称変更。また県東部からの透析通院患者さんのために1981年安芸診療所、2000年に室戸クリニックを開設致しました。2002年には現在の場所へ免震設備を備え新築移転し、患者さんの高齢化に伴い通院困難な方が増加してきたこともあり2011年に老人ホーム「はるか」を併設いたしました。開院以来、泌尿器を含めた腎の総合的医療の充実と提供をめざしてまいりました。

近年患者数が増加している慢性腎臓病（CKD）には糖尿病や循環器疾患等の合併疾患が多く、またこれらの疾患のコントロールが予後に重要です。現在は外来診療に泌尿器科、腎臓内科のほかには糖尿病内科、循環器科、内科、整形外科、総合診療科を開設しており、合併症を含めて総合的に腎泌尿器疾患を診る体制を整えています。現在、医師や各部署の職員が毎年度「進化」することを同じ目標とし連携して尚賢会の医療を支えてくれています。

前理事長より常々「よき組織風土」の大切さを聞いてきましたが、様々なことを前向きに努力する、よき組織風土が醸成されつつあると自負しているところであります。当院の理念である「患者さんのよき理解者、援助者となり、より良い医療を提供します」という言葉のとおり、安心して通院していただける医療環境を職員・丸となりこれからも提供していきたいと考えています。引き続きご指導・鞭撻のほどお願い申し上げます。

理事長就任のご挨拶

医療法人尚賢会 高知高須病院 理事長 池辺 弥夏



尚賢会のバックボーン

このたびは開業45年余のリーダーを退き会長に就任いたしました。多くの皆様方には身に余るご支援ご指導を頂きました。ただ感謝、感謝の言葉しか浮かびません。ありがとうございました。現在の尚賢会グループは泌尿器科、腎疾患診療を基本方針に貫いてまいりました。その方針が今日までぶれずに出来たということは、付いてきてくれたスタッフがいちからこそです。一同に感謝いたします。

この基本方針のルーツを考えますと、若き私の人生を方向付けた二つの貴重なイベントがありました。一つは、父の大学時代の同窓生で友人でもありました開業医だったN先生の助言でした。「高知には泌尿器科医がおらん」という、その一言でした。ほんなら自分がなつちやろか、と単純に反応し直ぐに自分の方向性を決定していました。泌尿器科の何たるかもほとんど知らずにでした。

そして二つ目のイベントは徳島大学泌尿器科教室にて得られた大きな教訓でした。入局時に同教室が独立し、東大から黒川一男教授が41歳の若さで赴任されました。国内で三本の指に入る、手術の名人。学生時代はバスケットボールの国体選手だったそうです。スポーツマン教授の教室らしく明朗闊達、自由独立の雰囲気、仕事も伸び伸びと出来ていたと思います。

一方、小生は教授の総会で「行く特別講演テーマ完成のため日中の診療後、夜を徹しての実験の月日がありました。まさに体力勝負でしたが、こうした厳しさの一面、絶えず前向きにさせてくれる教授の一言がありました。

基本的には「なすべき事はしっかりとこなすべし、そして責任も。やるからには一流を目指して」―黒川教授は口に出さず身をもつての教えでした。これが私の取り組み方のルールとなり、バックボーンとなりました。今もそれを誇りとしてスタッフに伝えていきます。

想えば、このお二方の存在、そして教えが常に私のハートを燃やし走らせ、尚賢会のルーツとして継続し発展させて来たのだと信じています。その教えに改めて深甚なる敬意と感謝を申し上げる次第です。

尚賢会の皆さん、今後も自由闊達な雰囲気を守り、より良い医療の継続を―目標はトップレベルへの努力を怠らぬです。よろしくお願いいたします。

理事長退任、会長就任のご挨拶

医療法人尚賢会 高知高須病院 会長 寺尾 尚民



患者さんのよき理解者、援助者となり、より良い医療を提供します

《医療法人尚賢会の歩み》



- 1974年10月 高知市高須に高須クリニック（病床数19床）として開院、寺尾尚民院長
- 1980年7月 医療法人となり診療所から病院へ（病床数52床）寺尾院長が理事長兼務
- 1981年7月 院内保育所開設
- 1981年8月 附属安芸診療所 診療開始
- 1982年9月 附属安芸診療所にて患者送迎バス運行開始
- 1987年4月 高須クリニックより高知高須病院に名称変更
- 1989年1月 県内初、体外衝撃波尿路結石破砕装置（ESWL）導入
- 1989年12月 附属南診療所 診療開始
- 1991年10月 県内民間病院初の生体腎移植実施
- 1998年9月 本院、集中豪雨による大水害発生
- 2000年11月 室戸クリニック 診療開始
- 2002年3月 外来電子カルテ導入
- 2002年6月 本院、高知市大津の新病院へ移転
- 2003年1月 地域の方へ腎臓の勉強会として第1回さらまめ教室開催
- 2004年3月 日本医療機能評価機構による病院機能評価 Ver.4.0認定
- 2006年12月 泌尿器科内視鏡手術用ホルミウムレーザー（Ho:LeP）導入
- 2009年3月 日本医療機能評価機構による病院機能評価 Ver.5.0認定
- 2009年9月 本院2階改装増築工事着工
- 2010年11月 5階透析室（透析室3）稼働開始
- 2011年4月 介護付有料老人ホーム「はるか」開設
- 2012年5月 附属安芸診療所耐震工事並びに増築工事竣工
- 2014年3月 日本医療機能評価機構による病院機能評価 3rd Grade Ver.1.0認定
- 2014年3・4月 生体腎移植施行
- 2014年10月 訪問看護ステーションたかす。
- 2014年12月 居宅介護支援事業所ケアサポートたかす開設
- 2015年7月 居宅介護支援事業所ケアサポートあき開設
- 2015年9月 訪問看護ステーションあき開設
- 2018年12月 手術支援ロボット「ダビンチSi」導入
- 2019年2月 ダビンチXiへ更新
- 2019年2月 前立腺癌超音波画像診断装置導入
- 2019年6月 日本医療機能評価機構による病院機能評価 3rd Grade Ver.2.0認定
- 2019年7月 本院開院45周年
- 2019年10月 遠隔読影システム導入
- 2020年4月 寺尾尚民理事長退任し会長に就任、池辺弥夏理事長就任

歩んだ“私の世界”

池辺新理事長に聞いてみよう!

子供時代はどんな、お子さんでしたか?
 子ども時代は、すごく活発というわけでもないし、ずっと家の中にいるわけでもないし。家の裏に山があったので、基地を作って遊んだりしていました。あと、リカちゃん人形で遊んだね。妹や近所の子供たちと遊んだ。
学生時代、されていた部活やスポーツなど、思い出は?
 小学校の時はスイミングスクールに行っていた。中学校は、バドミントン部に入ったけど、練習がきつくて、すぐ辞めちゃいました(笑)

インタビュー

- インタビュアー
三好可奈
- 広報委員
森木幸・古橋由貴



高校は茶道部。大学も茶道部。抹茶好きだったしお茶を飲んで、楽しくお菓子を食べる。気軽に楽しめたかな。作法とかは、今になって役に立ったかな。あとスキーにも、大学の時に何度か行って、知らない人に後ろからぶつかられて、転けて、脳しんとう起こした思い出がある。
ご趣味は?
 勉強はそんなに、アイドルは好きやって、コンサートとかも行ったし。俊ちゃんが好きだったね。今は嫌いだけど(笑)
大学生のころの、マイブームは?
 川崎医科大学だったけど、そんなに遊ぶ事もなかったけど。大学時代のマイブームは、うん、思い浮かばないな。2年間は寮生活。一人暮らしが初めてだったし。友達もいたし。
医師になろうと思った動機や時期は?
 たぶん、漠然と。祖父は薬局だったし、父も医者だったし。なんとなく小学校くらいの作文には医者になりたいと書いていたように思う。そういえば、小学校の低学年くらいの時、父と一緒に大阪へ船で行った時、その時によくテレビで見る「お医者様いらっしゃいませんか?」って急病の人がいて、その時、父が手を挙げて対応して。それなら、それまで、大部屋?だったのに、すごくいい部屋になって、扱いが良くなった(笑)。子供ながらに偉いことだなと思った。今、自分がそんな立場になったら、手、挙げられるかな?と思うけどね。そういう思い出があります。

船内急患、挙手の父偉いな

研修医時代のご苦労は?
 その頃は、全部の科を回るのではなく、そこへ入局して、いくつか回るとい感じ。苦労というか、若かったしね。まあ、卒業して、すぐ結婚しての研修医時代だったし。結婚して、熊本に行つたので、そこで、すぐ、医者になつたので。新しい友達とか同期とか、新鮮で



楽しかったね。熊本は楽しかった。都会や(笑)。腎臓と消化器と内分泌かな。今みたいに科が分かれてなかったから。
腎臓内科医になろうと決めた時期は?
 どうかでやっぱり自分のところが病院やつてから。とかいっても、泌尿器科は、興味なかったけど(笑)。内科系に行きたかったんで、腎臓内科かな。研修先を選ぶとき熊本を選んだのも腎臓内科があったので。
医師として大切にしていることは?
 医師として大切にしていること。やっぱり、患者さんとの対話、向き合うということかな。患者さんを診る上で、外來がわりと好きで。たわいもない話から病状を聞いていく。話をするだけで元気になると言われると嬉しい。話の中で分かることもあるし。なるだけ3分診療にならなようにしっかりと話を聞いている。お年寄りの方の話、聞くのも好きやしね。透析：腎不全は、人によっては、落ち込む人もいるし、透析の話になると、透析だけは、つて、すごく頑なな人もおるし、受け入れに時間がかかることもあるので。透析についていう言葉を聞くだけで拒否をされる方もおるしね。なるだけ話す時間をとって、と思ってる。



患者さんとの対話、大切に

自分の好きな言葉は?
 お祝いの中で、もらった中に「日々是吉日」という言葉があつて、いいなと思つた。
子育てをしながらのお仕事、ご苦労は?
 子育てしながら、今はだいたいお楽になつたけど。一番下が中学生になつて。一番大変な時期は、それぞれ中学、大学受験、3人の時期が重なることもあつて。それと、3人ももサッカーをやつてたので、塾やサッカーの送り迎えとかが重なつて。夕方とか時間に追われた時。

大変だったけど、楽しかったですね。
とても嬉しかったことは?
 いっぱいある。週末はサッカーが楽しみやつたけど、今はコロナの関係で、全部なくなつてるけど。職場でも結構子供さんがサッカーやつてる人が多いので、サッカー繋がりのお話、あつた(笑)全国大会に向けて、サッカーで人とのつながりも大きかったら、
医師になつていなかったら、どんな仕事を選んだ?
 あ〜どうだろう。考えたこともあるけど。前は保母さんとか。歌下手やし〜ピアノ弾けんしね。子どもに関わる仕事もしたいな〜と思つたこともある。最近では、年取つたのもあるけど、自然の農家的な：無理やと思うけど植物関係とかいいなと思つたり。
先生は三人姉弟での思い出は?
 弟とは喧嘩してたけど、妹とはずっと仲いいけど(笑)
最後に、病院の中のお父様(会長)と、ご自宅でのお父さんのギャップは?
 父親としては、すごく甘いのでね。怒られた記憶は無い。こつち(病院)へ来たなら怒ってるし(笑) あんまり、ガミガミする姿は病院でしか見ないの。たまに見ると嫌だな〜(と笑)怒らず、のんびりしてればいいのにな〜と思つた(笑)。父は病院を我が子のようにずつと、自分のものとして作ってきたから、思い入れは強いと思う。
これから職員へ期待するところは?
 これからも皆に期待しています。いろんな面で期待しています。

ありがとうございます。

♪ いくつもの日々を越えて 辿り着いた今がある だからもう迷わずに進めばいい 栄光の架橋へと・・・ ♪

会長 理事長 東部訪問

東部看護統括部長 小松 登美

会長より、職員に向けて発信されたメッセージ。私たちは尚賢会に対する熱く、まっすぐな思いを心深く受け止め「就任のご挨拶」として額に入れ4月に安芸診療所へ来られるのを待ちました。
 当日は会長、理事長に安芸・室戸の職員の感謝と、真心を届けたいと、ささやかなセレモニーを企画しました。

お二人をイメージした花束と贈る和歌をアレンジしてプレゼント。そして職員から歌のプレゼント「栄光の

架橋」を合唱しました。他にも会長の「耳に出来たタコを取っていただくためにイボコロリ(笑い)、理事長に道中無事にきていただけのように交通安全のお守りも渡しました。
 *奥様から「私(会長)についていくのが本当に大変なことながやき」と耳にタコができるほど聞かされていたそうです。



賛歌「栄光の架橋」職員合唱プレゼント

感涙たがいに溢れる

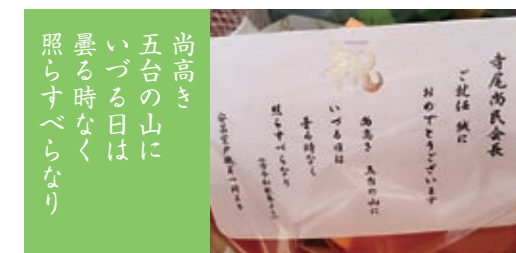
これらのプレゼントは想像以上に喜んでいただき、合唱の時には会

長の目から涙がこぼれ、その背中をずっと見てこられた理事長、そばでずっと支えられ一緒に尚賢会を引っ張ってこられた寺尾副理事長、そして皆の目からも涙が溢れました。皆を代表してスタッフからの謝辞を紹介します。

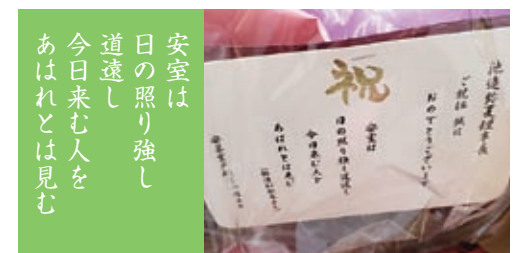
【敬愛なる会長】
 会長の宝物であり命である尚賢会の一員となる事ができてとても幸せです。「形を作り魂を入れる」とおっしゃった言葉が今も胸に深く刻ま

れています。尚賢会はもちろんです。素晴らしい魂を持った方々と出会ふことができました。私にとっても一生の宝となる!と心から感謝しています。会長の耳にタコができせんように。

感謝と真心込め和歌アレンジを贈る



【訳】尊く高い五台山から昇る太陽は(会長は)、曇ることなくこれからも皆を照らしつづけることでしよう。



【訳】安芸と室戸は日射しもきつく道も遠いですが、今日来て下さる人を情の厚い人と思つて心から皆で歓迎します。

～尚賢会を愛する者より～
 職員の真心に涙で応えてくださった会長ならびに理事長、寺尾副理事長に、安芸・室戸の職員を代表して心から敬意を表します。

座談会 高須クリニック時代 共に歩んだ現役職員ら昔を懐かしむ

三好:まず、高須クリニック時代で、頭にすっと蘇るのはどんな場面?
 前川:1階待合ロビーの中庭に、錦鯉がいる池があって、会長が昼食後に必ず、鯉に餌を豪快にあげてた。
 全員:そうそう!
 三好:あの鯉には、患者さんも喜んでたね
 中西:当時は、臨床工学技士ではなく、テクニシャンと言われてた。
 増築前はエレベーターが無く、階段を上がれん患者さんが来た時は、担架で2階の病室へ上げてた。重い人の時は本当に大変やった。
 三好:その頃、透析はどうでした?
 中西:当時は、今みたいに透析の性能が良かったわけではなく、血圧が急に下がったり、気分が悪くなったり
 前川:そうそう、後ろ向いたら意識がなくなってる人もいて、とにかく、透析の後半は、膿盆を持って走り回りよった!
 中西:それと、新薬や新しい治療法の勉強会もよく開いてくれ、色々教えていただいた。たぶん今の新人研修に該当するものやと思う。

会長、理事長ご就任の特集号ということで、今いる職員の中で在職期間の長い方が集まり、当時の高須クリニック時代や寺尾院長(現会長)との思い出など懐かしむ座談会を企画しました。



出席者
 ●中西 栄 (臨床工学技士・1977年入職)
 ●吉川 美弥子 (看護師・1978年入職)
 ●前川 三智子 (看護師・1981年入職)
 司会
 ●三好 可奈 (看護師・1981年入職) 広報委員

前川:会長は高知県で一番に最先端医療を取り入れよったがやないろうか?それで、よく、県外へも勉強に行かせてもらったね。CAPDも保険適応になって、すぐに。
 三好:そうそう、一緒に大阪の病院へ、当時の桑原副院長と

一緒に勉強に行ったね。
 吉川:入職した年に患者さんとの交流会がスタートして、記念すべき1回目は4月。桜の咲いていない種馬所(シュバシヨ)。現高知工科大でのお花見・宴会で盛り上がった。
 前川:私達は、赤岡の地引網やったね。その日だけは、会長が「今日は食事制限なし、お酒も飲んで楽しんで」と挨拶のあと、笑顔で患者さんと楽しんでたことも思い出すね。
 三好:私は、高須クリニック野球部の試合を見に行った時の、会長のユニフォーム姿も忘れんけど皆は?
 中西:昼休みにバレーボールをしたり、キャッチボールをしたり
 吉川:それと、病院対抗バレーボールの試合に一緒に出場し汗を流してプレーしてた。
 三好:あと、外来とか病棟のことやけど、どんな思い出がある?
 吉川:新人で一人当直を初めて間もない頃に、深夜喘息の患者さんが来た時、連絡すると「今からすぐ行くから、心配いらない」と、すぐに駆けつけてくださった時は、涙が出そうになり、安心した自分を思い出すね。

三好:休日にもかかわらず、病院へ来られ、患者さんを診回り、そして、帰宅された後も、病院から電話が入ると、すぐに駆け付けて。
 前川:当直看護師に変わったことないか確認の電話があり、看護師は安心してたよね。
 三好:外来では、会長の診察日は、とにかく患者さんが多かった。手術日の時は、午前中外来、午後から手術、さらに、透析室の夜間の回診、当直勤務まで。いつ休まれるのだろうか?と



昭和50年 高須クリニック透析室



昭和60年4月 患者交流会(赤岡地曳網)

思ったことを覚えてる。
 中西:とにかく、四六時中、在院していた記憶がある。(いつ休んでいるか不思議だった)
 前川:それと、夜時間外に診てほしいという電話が入った時、会長からは「患者さんを断られん」と教育されてたね。会長の患者さんを大事にしてきた結果が、今、こうして、患者さんに信頼される病院として成長したのだと思う。
 全員:本当に。

最後に、「患者さんを大事に」の精神は、昔も今も変わりません。今いる職員、これから入職する人達にも、受け継がれていくことと信じております。ますますの高知高須病院のご発展を祈念し、座談会を終わります。



職員から理事長・会長へのプレゼント

理事長

会長

高知県腎臓病患者友の会・高腎会 会長 安岡 日出男

この度は、池辺弥夏先生が高腎会の理事長にご就任されたとの由、誠に慶賀の至りであり、心よりお祝い申し上げます。
 以前より、医師として十分な実績をお持ちであり、その活躍は私も患者にとつても大きな力となっております。池辺先生の理事長ご就任により、今後の貴会の更なるご発展・ご躍進は、間違いないものと思っております。
 今後は、高腎会の舵取り役として重責を担われると存じますが、くれぐれもご自愛の上、二層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。
 また、理事長として永年にわたり職務に精励された寺尾尚民先生が退任されるにあたり、高腎会として心より感謝の意を表します。
 今後は高腎会の会長としてのお立場から、さらに多くの患者のためにも益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



保育園・幼稚園 入園おめでとう



松本 そうたくん



原 くるみちゃん



高橋 あゆむくん

元気いっぱい、登所してくる姿が見られなくなるのはさみしいけれど、それぞれ新しい場所で、たくさんのお友達と今までと変わらず、元気いっぱい楽しく過ごしてね。



石原 ゆうりくん



山本 いちかちゃん



仙頭 たいきくん



第5回 糖尿病 料理教室



焼き、わさび和え、沢煮椀、フルーツヨーグルト)が並び、参加者さんと向かい合わせで今回の料理についてや、日頃の食生活での健康維持の情報交換をしました。糖尿病食は味気ないイメージがありましたが、参加してこんな美味しい料理に驚きました。楽しい時間、美味しい料理、皆さんのチームワークを勉強させていただきました。ありがとうございました。

テーブルに5品(ご飯、ふくさ、焼き、わさび和え、沢煮椀、フルーツヨーグルト)が並び、参加者さんと向かい合わせで今回の料理についてや、日頃の食生活での健康維持の情報交換をしました。糖尿病食は味気ないイメージがありましたが、参加してこんな美味しい料理に驚きました。楽しい時間、美味しい料理、皆さんのチームワークを勉強させていただきました。ありがとうございました。

初めて参加させていただきました!
 室戸クリニック 看護師 中屋 和美
 2月1日(土)高知市保健福祉センターにて第5回糖尿病料理教室が開催されました。
 患者30名職員18名参加で、6グループに分かれ、参加者さんがメインで調理に取り組み、貫いスタッフは献立の用紙を見ながら声掛けやお手伝いをしました。
 女性は日頃の主婦経験を活かし手際よくそれぞれ作っており、男性は大根おろし調味料計量、使い終わった調理器具洗いをお願いしました。オーブンレンジ、沸騰の加減など時間に追われバタバタしていましたが、調理時間90分間はあっという間に経過し料理が次々と出来上がっていく様子はとても嬉しかったです。
 テーブルに5品(ご飯、ふくさ、焼き、わさび和え、沢煮椀、フルーツヨーグルト)が並び、参加者さんと向かい合わせで今回の料理についてや、日頃の食生活での健康維持の情報交換をしました。糖尿病食は味気ないイメージがありましたが、参加してこんな美味しい料理に驚きました。楽しい時間、美味しい料理、皆さんのチームワークを勉強させていただきました。ありがとうございました。



第11回 KAIZEN 発表大会

最優秀賞

病棟介護士による業務改善の取り組み ～気持ちのいい朝と安全な1日～

病棟 横山 雄三

2月8日(土)に第11回KAIZEN発表大会を開催しました。各部署で1年間取り組んだ業務改善の成果を発表する大会も今年で11回目。
今回の最優秀賞は病棟の「病棟介護士による業務改善の取り組み」でした。また優秀賞は臨床工学部、奨励賞は診療技術部検査室と医療安全管理室が受賞しました。おめでとございます。



臨床工学部 主任/山本 浩平 課長/濱田 あすか



診療技術部検査室 足立 瑠(左) 医療安全管理室 筒井 夏子(右)

第11回KAIZEN発表大会。今回、病棟介護士の発表で当日までの間、緊張と不安でした。このKAIZEN大会でスキンテア対策について介護士間で取り組み、その取り組みが評価され最優秀賞を頂くことができます。大変嬉しく思います。



最優秀賞

病棟介護福祉士 横山 雄三・山本 めぐみ

最初に、スキンテアとは、脆弱な皮膚が裂けてできた創傷のことを言います。高齢者の皮膚はドライスキンに加えて皮膚が薄く、わずかな摩擦、衝撃でもスキンテアが発生してしまい、その中でも、特に透析患者さんはスキンテアリスクが高いです。

スタッフ皆で取り組んだスキンテア対策

病棟でのスキンテア発生時の状況を調査したところ、移乗介助時が多く、その中でも車椅子のフットレストに足をぶつけた際の下肢皮膚裂傷というインシデントが目立ちました。
その事を問題点とし、予防ケア方法として外力保護ケアに取り組みだとして、取り組みを始めてから今日までのスキンテア発生事故件数がゼロ件という成果がみられました。
スキンテア対策を始めてから個々の意識が強まり、皮膚状態にもより一層気を付けるようになりました。
まだまだ課題もありますが、今後も一人一人がスキンテアについて理解を深めていき、予防ケアに取り組んでいくことが重要だと思います。

第11回KAIZEN発表大会プログラム

No.	演題名	部署・演者名
1	病棟介護士による業務改善の取り組み ～気持ちのいい朝と安全な1日～	最優秀賞 病棟介護福祉士・横山 雄三
2	院内血糖測定器変更への取り組み	奨励賞 診療技術部検査室・足達 瑠
3	業務の効率化～予習時間の短縮を目指して～	管理部医師事務作業補助・梶原 りか
4	透析室業務改善を成功に導くために	優秀賞 臨床工学部・山本 浩平
5	指示受け円滑化を目指して	看護部・永吉 千裕
6	医療安全～KAIZEN～	奨励賞 医療安全管理室・筒井 夏子

最優秀賞

部署

病棟

演題

病棟介護士による業務改善の取り組み

1. 整髪ケアの実施

①手洗い場に鏡の設置

②寝姿直し用スプレーボトルの使用

客観的に自分を見ることができるようになった。

2. 毎朝5分間ミーティング

【問題点】

- ・業務抜けがあった
- ・全員で集まる場がなかった

→

- ・業務内容の共通認識
- ・業務抜けをゼロに

3. スキンテア予防対策

スキンテアの発生場面は移乗介助、体位変換、清拭、入浴介助、更衣時、転倒時が多く、病棟内でも特に多発している移乗時のスキンテア(表皮剥離)に目を向け、スキンテア予防対策を行いました。

移乗時のスキンテア事故が多い

一人ひとりが意識的にケアを行い、移乗時のスキンテア事故減少を目指す！！

ももに靴下をかきせる

その上からクッションケースをかきつけて固定

結果

- ・職員全員がスキンテアに対する意識が高まった。
- ・フローチャートを活用し、統一した対策が行え移乗時のスキンテア発生件数が減少した。
- ・入院カンファレンスで対策を立てることで、スタッフ間(他職種)で情報共有ができた。

1月31日、長崎出身で高知県観光特使の松尾貴臣さんをお招きし、はるかライブ開催して頂きました。松尾さんはプロの社会派シンガーソングライターで、「ホスピタルライブ」と称し、全国の施設などを回られています。今回ご縁があり、はるかに来て頂きました。

袴にブーツ姿で現れた松尾龍馬に、皆さんビックリ!しかし歌が始まると、迫力のある歌声に聞き入っていました。リズムに乗って手拍子したり、『ふるさと』では一緒に口ずさんだり。入居者様～ご家族様も楽しんで頂けたようです。



ご自分のおじい様との思い出を歌にしたオリジナルソングや、『なごり雪』等の歌謡曲など披露して頂き、あっという間の30分でした。

全国を車で回っている松尾さん、走行距離は35万キロを超えたそうです。家族とも半年以上会えないとか。それでも新しい出会いと歌を届ける為に、今日もどこかでライブをされていることでしょう。


松尾さん本当にありがとうございました。

はるかだよ!

松尾貴臣さんがライブに来てくれました!


♪歌う坂本龍馬、はるかで熱唱♪

介護付有料老人ホーム
はるかケアマネージャー
片岡 佳世




①お笑い鑑賞
②院内は広く清潔感があり、また職員の皆さんが温かく親しみを感じました。
③笑顔を絶やさず、何事にも精一杯頑張っていきます。よろしくお願いします。

栄養部
松岡 さやか
まつおか さやか




①テレビを見ること
②スタッフの皆さんが優しく、温かい雰囲気の病院だと感じました。
③一つ一つの業務を丁寧にし、一生懸命がんばります。よろしくお願いします。

栄養部
稲垣 梨香子
いながき りかこ



①音楽鑑賞
②明るく開放的で、患者さんが安心して過ごすことができる病院だと思いました。
③1日でも早く仕事を覚えて皆さんの役に立ちたいと思います。よろしくお願いします。

薬剤部
畠中 悠紀子
はたけなか ゆきこ



①スタッフの方が優しく明るい印象を受けました。
②笑顔で患者さんのためになる診療をしたいと思えます。よろしくお願いします。


医師
川田 愛
かわだ あい



ニューフェイス紹介


2020年1月1日～2020年4月1日

①趣味 ②病院の印象 ③自己PR
※部署別に掲載




①特になし
②明るく、キレイ！
③名前のとおりです。

画像診断部
山本 静男
やまもと しずお




①打ち放しゴルフ
②高知県の腎センター
③永遠のテーマで100切り3割目指すヘボゴルファー

画像診断部
茅原 和明
ちはら かずあき




①釣り、将棋
②広く明るくシンプルな待合ロビーが印象的でした。
③誘われる、頼まれる、任される、無理かなと思われでも了解してしまいます。

画像診断部
公文 弘
くもん ひろし




①スポーツ・スポーツ観戦
②地域に密着し、患者さんに寄り添い、患者さんの思いを大切にして医療を提供している。
③先輩方に指導・助言をもらい、患者さんに貢献できるように、一生懸命頑張ります。

透析室看護師
横山 裕
よこやま ゆう




①旅行・買い物
②職員の皆さんに優しく接していただきアットホームな印象です。働けるのが楽しみです。
③まだまだ未熟ですが、がんばりますのでよろしくお願ひします。

透析室看護師
國澤 香織
くにさわ かおり




①ゴルフ
②高知県への赴任ははじめてになりますが、静かでのどかな病院だと思いました。
③泌尿器科としてまだ2年目になりますが、様々な事に積極的に取り組みたいと思います。

医師
矢野 哲弘
やの てつひろ




①洋画鑑賞・スポーツ
②入口付近の椰子の木や滝、院内に沢山飾られている絵画に、心洗われる気持ちです。
③初めての職種ですが、一人前目指し前向きに日々努力します！よろしくお願いします。

管理部医師事務
大塚 華子
おおつか はなこ




①釣り・スノーボード・ギター
②建物は広くて清潔感があり、職員さんから感じた温かく柔らかな雰囲気が好印象でした。
③前職の社会福祉法人での経験を活かし一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

管理部経営財務課
坂井 知也
さかい ともや




①ソフトボール・お酒
②落ち着いた空間と喫茶コーナーなど気配りの高さを感じました。
③これまでの経験を活かし貢献できるように頑張ります。よろしくお願いします。

管理部
近森 久司
ちかもり ひさし




①映画鑑賞・卓球
②院内は広く清潔感のある印象。またスタッフの方も親切で人脈の熱さを感じました。
③看護師の経験がないため不安ですが、仕事をしっかり覚え、自己研鑽に努めていきます。

透析室看護師
田川 恵一
たがわけいいち




①アウトドア・ペット飼育(蛙・カブト虫・カナヘビ)
②病院見学の際は、看護副部長さんをはじめ笑顔で出迎えて下さった事が印象に残っています。
③美容師から看護師に転職しました。一生懸命頑張ります。ご指導よろしくお願い致します。

透析室看護師
松本 由里子
まつもと ゆりこ




①バイク・よさこい
②高知市から室戸まで広範囲で人工透析や訪問看護を行っている、地域に根差した病院。
③早く仕事を覚えて、患者さんに信頼される看護師になれるよう頑張りたいです。

透析室看護師
真辺 宏生
まなべ こうせい




①音楽鑑賞
②フロアがとても明るく開放的で清潔感のある病院だと思いました。
③新しい環境、仕事に慣れていながら、業務にしっかり取り組むよう頑張ります。

病棟助手
前田 有美
まえだ ゆみ




①ホットヨガ
②広くて静かできれいな病院だと思いました。スタッフの方々が笑顔で温かい雰囲気でした。
③何事も一生懸命笑顔で取り組みます。これからよろしくお願いします。

外来クラーク
竹内 早紀
たけうち さき




①ライブへ行くこと
②スタッフの方々優しい印象でした。地域の方に寄り添った病院だと感じました。
③訪問看護の経験はありませんが早く知識と技術が身につくよう頑張ります。

訪問看護ステーションあき看護師
伊吹 智梨美
いぶき ちなみ




①猫と遊ぶ
②県内でも有数の専門性の高い病院であると思います。
③よろしくお願いします。頑張ります。

病棟看護師
川村 望
かわむら のぞみ




①バレーボール
②病院見学をした際、病院の雰囲気や職員の姿を見て、働きやすい環境だと思いました。
③10年間続けてきたスポーツにより、厳しい環境でも耐え抜く忍耐力があります。

病棟看護師
玉木 隆一郎
たまき りゅういちろう




①グルメ巡り
②明るく清潔感があり、スタッフの方がすぐ丁寧な対応だと感じ安心できました。
③3児の母です。仕事と家庭を両立頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。

病棟看護師
川上 美幸
かわかみ みゆき




①温泉巡り
②病院は患者さんに優しく笑顔で接する看護師・スタッフがたくさんいる職場だと感じました。
③新しい仕事なので何もわかりませんが、色々教えてください。宜しくお願い致します。

車輦運転手
安部 慶志
あべけいし




①素人園芸
②スタッフの皆さんが優しく、明るく、丁寧とても感じが良かったです。
③話し下手ですが真面目なほうだと思います。

車輦運転手
小松 博信
こまつ ひろのぶ




①映画鑑賞
②とても清潔感があり、明るい雰囲気の病院という印象を受けました。
③前向きさを活かし、一日も早く仕事を覚え、丁寧な対応を心掛けます。

外来クラーク
久保 美由紀
くぼ みゆき




①読書・音楽鑑賞
②実習生としてお世話になった際とても親切に対応して下さった為温かい印象です。
③一つ一つ丁寧に取り組み、一人前を目指して頑張ります。よろしくお願いします。

臨床工学技士
笠原 泰
かさらは しん



①宝塚鑑賞
②院内はとても綺麗で、明るい雰囲気だと感じました。
③不安もありますが、早く病院に慣れて精一杯頑張りたいです。よろしくお願いします。

臨床工学技士
北村 美咲
きたむら みさき



①読書・ドライブ
②明るく開放的な雰囲気、スタッフの皆さんも話し掛けやすく、温かな印象でした。
③一期一会を大切にしています。患者さんに満足してもらえる看護を提供していきたいです。

外来看護師
藤田 明子
ふじた あきこ

学会・研究会 発表実績 (発表期間/2019年10月～12月)

学会名	開催日	開催地	演題名	部署名	演者名
第53回四国透析療法研究会	10月6日	徳島県	災害に対する意識向上を目指して ～ 災害に対する透析患者の認識を知る ～	安芸診療所	小松 美香
			患者のシャント管理に関する実態調査 ～ 患者のシャント管理行動に焦点をあてて ～	透析室3	門田 昌子
			ニプロ社製透析モニターHD03の臨床評価	臨床工学部	井上 英子
			抗がん剤治療によりアルブミン低下をきたした症例に HES製剤を使用した一例	臨床工学部	小川 晋平
			臨床工学技士の腹膜透析療法への関わりと バクスター社製シェアソース導入について	臨床工学部	小川 晋平
			日機装社製ブラッドボリューム計BVplusとBV計の精度について	臨床工学部	中川 景太
			透析治療中のVA血流量変化に与える要因の検討	臨床工学部	藤村 麻衣子
知的障害患者の血液透析導入への関わり	透析室2	徳平 理絵			

学会名	開催日	開催地	演題名	部署名	演者名
第25回日本HDF研究会学術集会・総会	10月12・13日	東京都	臨床におけるBVプラス、QSコントロールの有用性	臨床工学部	小川 晋平
高知県看護協会東地区 第19回看護研究発表会	10月19日	高知市	知的障害患者の血液透析導入への関わり	透析室2	市川 ユカリ
第33回日本泌尿器内視鏡学会総会	11月 22～24日	京都府	5-アミノレブリン酸による 光力学診断補助下経尿道的膀胱腫瘍切除術の初期経験	医 局	中西 茂雄
第25回 日本腹膜透析医学会学術集会・総会	11月 23・24日	広島県	バクスター社製シェアソースにおける臨床工学技士の 関わりについて	臨床工学部	濱田 あすか
日本糖尿病学会 中四国地方会 第57回総会	12月 6・7日	徳島県	グリコアルブミン値からみた透析導入直前の HbA1c値の検討	検査部	井上 美和
第4回IHDF研究会	12月8日	東京都	間歇補液型血液透析濾過 (I-HDF)における 各種ヘモダイヤフィルターの性能評価	臨床工学部	山本 隼也